

# 授業科目 治療学演習Ⅰ

【担当教員名】 佐藤 成登志、相馬 俊雄、亀尾 徹 椿 淳裕、松本 香好美		対象学年	3	対象学科	理学
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	60 (内 15)
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：GI0】 各種機器の取り扱いを理解し、その重要性和適応を習得する。その際に、起こりうるリスクを選択でき、それに対して対処できる知識・技能を修得することを目的とする					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 物理療法に対するリスクを説明し、対処できる。 2. 物理療法の実施とリスク管理、治療方針の修正を行うことができる。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	物理療法機器の実習（その1 温熱療法）	1,2	実習、担当：佐藤 成登志		
2	物理療法機器の実習（その1 温熱療法）	1,2	実習、担当：佐藤 成登志		
3	物理療法機器の実習（その1 温熱療法）	1,2	実習、担当：佐藤 成登志		
4	物理療法機器の実習（その2 水治療法・牽引療法）	1,2	実習、担当：佐藤 成登志		
5	物理療法機器の実習（その2 水治療法・牽引療法）	1,2	実習、担当：佐藤 成登志		
6	物理療法機器の実習（その3 電気療法）	1,2	実習、担当：佐藤 成登志		
7	物理療法機器の実習（その3 電気療法）	1,2	実習、担当：佐藤 成登志		
8	まとめ	1,2	実習、担当：佐藤 成登志		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		物理療法学	奈良 勲	医学書院	
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 期末試験，出席日数，などを通して総合的に判断する。		【履修上の留意点】			